

講義名	対1)現代ビジネス			授業形態	
担当教員	青木 良三	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

・本講義の主題は、現代のビジネスで起きている出来事を経営学の観点から解説することにあります。本講義を受講することにより、学生は現代ビジネスの仕組み、とくにその経営を理論に基づき理解できるようになります。
 ・授業ではビジネスの世界で起きている出来事を取り上げ経営学の用語を使って解説します。
 ・「経営学入門」で修得した経営学の用語はしっかり理解していることを前提とします。
 ・理論をしっかりと学習したい学生は、「経営戦略論A、B」を履修してください。
 ・授業のレベルは、初級レベルの「経営学入門」と中級レベルの「経営戦略論A、B」の中間のレベルとします。

到達目標

学生は、本講義を受講することによって、ビジネスを経営学の観点から理解できるようになります。
 学生は、ビジネス関連の記事に関心をもつようになり、その記事を解説できるようになります。
 学生は、自ら現代のビジネスに関連する新聞記事などの情報を収集し、分析できるようになります。
 学生は、現代ビジネスの仕組み、とくにその経営を、理論に基づき、自ら考え、理解することができるようになります。

提出課題

・提出課題は、ありません。コピーしたレポートが多いからです。
 ・レポートの提出は、任意とします。
 ・レポートを提出する場合は、本講義のテーマである現代ビジネスに関連するものを書いてください。
 ・テーマについて、不安がある場合は、相談してください。
 ・オンデマンド授業になった場合、毎回レポート提出を求めます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

・レポート、小テストを予定していませんが、任意でレポートが提出された場合は、授業中にフィードバックします。それができない時は、電子メールでフィードバックします。
 ・オンデマンド授業になった場合、定期的にレポートと質問について、講義連絡や電子メールを使ってフィードバックします。

評価の基準

・期末試験の結果で成績評価します。
 ・ただし、授業中に発言すると、1回1点、最大30点まで評価します。期末試験の結果に、発言で得た点を加算します。双方の授業を行いたいので、授業中の発言を歓迎します。
 ・レポートは、義務ではありませんが、コピーでない優れた内容のレポートは、成績評価の参考とします。
 ・オンデマンド授業になった場合、毎回提出されるレポートにより成績評価します。

履修にあたっての注意・助言他

・期末試験は、授業中に持たされたことや板書した事柄、授業中に配布した資料から出題します。授業の欠席が多いと、試験で得点するのがむずかしくなるので気をつけてください。
 ・私塾等により他の受講生の迷惑をかける学生には退席を命じます。その指示に従わない場合は、退席します。
 ・オンデマンド授業になった場合、レポート提出回数が少ないと単位取得がむずかしくなるので注意してください。

教科書

・教科書は使用しません。

参考図書

その他

・RYUKA Portal から資料をダウンロードできるようにします。
 ・教科書はありませんから、資料を必ずダウンロードして、授業の際に持って来るようにしてください。

授業計画

- アマゾン 書籍のネット販売からプラットフォームへ
- アマゾン サブスクリプション
- アマゾン 物流 ネットスーパーに進出
- ソフトバンク・グループの戦略 ヤフーショッピングほか
- ソフトバンク・グループの戦略 4A、ファンド事業ほか
- アップル 市場創造戦略 iPhone インターフェース デザイン
- アップル アンドロイドイサリテイ 顧客の思い込み
- ソニー ビジネスモデルの転換 ネットビジネス
- ソニー エンターテインメント・ビジネス(ゲーム、音楽、映画)
- イノベーション 5G
- イノベーション AI
- イノベーション 自動運転
- クラウドファンディングほか
- デジタルマーケティング
- ビジネスのデジタル化

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A: PBL (課題解決型学習)	<input type="radio"/> I: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> W: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> E: グループワーク
<input type="radio"/> O: プレゼンテーション	<input type="radio"/> K: 実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> K: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・予習について、テキストはありませんが、参考文献やシラバスに記載した企業に関する雑誌記事、新聞記事を読んでください。
 ・復習は、配布した資料を読んで、出てくる経営学の用語の意味をしっかりと理解し、使えるまで学習してください。
 ・予習に2時間、復習に2時間が目安となります。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・学生は、本講義を受講し、毎回の授業の予習、復習を欠かさなければ、最新のビジネスについての情報収集力、情報分析力、課題発見力、課題解決に向けた構想力が身につきます。
 ・学生は、企業経営の仕組み、とくにその経営を、理論に基づき、自ら考え、理解することができるようになります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・レスポンスを使用する場合は、事前に講義連絡します。

実務経験の有無及び活用

・実務経験あり、1979年から1997年まで銀行に勤務。産業調査や融資、ファンド運用を担当しました。授業で取り上げる企業の事例について、企業分析の実務経験を踏まえたコメントができます。新聞記事とは違ったコストができると思います。

備考

・新型コロナウイルスの感染状況によっては、本講義はオンデマンド型授業になる可能性があります。